

●「乳がん」の現状

女性がかかるがんの中で最も多いのが乳がんです。乳がんは、早期発見することで治療可能な病気であり、近年では乳房X線撮影装置（マンモグラフィ装置）の発達により早期発見が容易になっています。

しかし、現在、乳がんは14人に1人の女性がかかると言われ、増加傾向にありますが、まだまだ無関心な人が多いのも現状です。乳がんと診断されるのは40歳以上の女性に多くみられるのですが、がん細胞が検査で分かる大きさになったときには10年以上の年月が経っています。

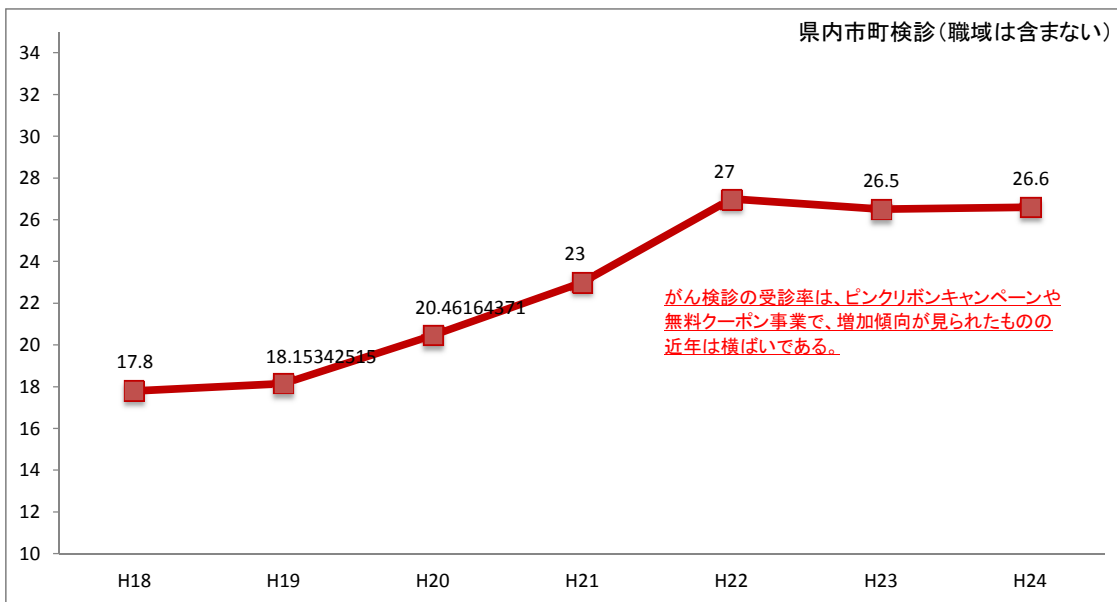
県内の市町では、料金は自治体によって異なるものの40歳以上の方を対象に検診を行っています。

※ H21年度からは節目年齢への乳がんの無料クーポンの配布を開始。

※ 推察) 乳がん検診受診率の上昇は、ピンクリボンキャンペーン（佐賀はH19年度から開催）や、有名人（乳がん：山田邦子など）が罹患したため報道機会が増え、社会的関心が高まったことも要因と考えられる。

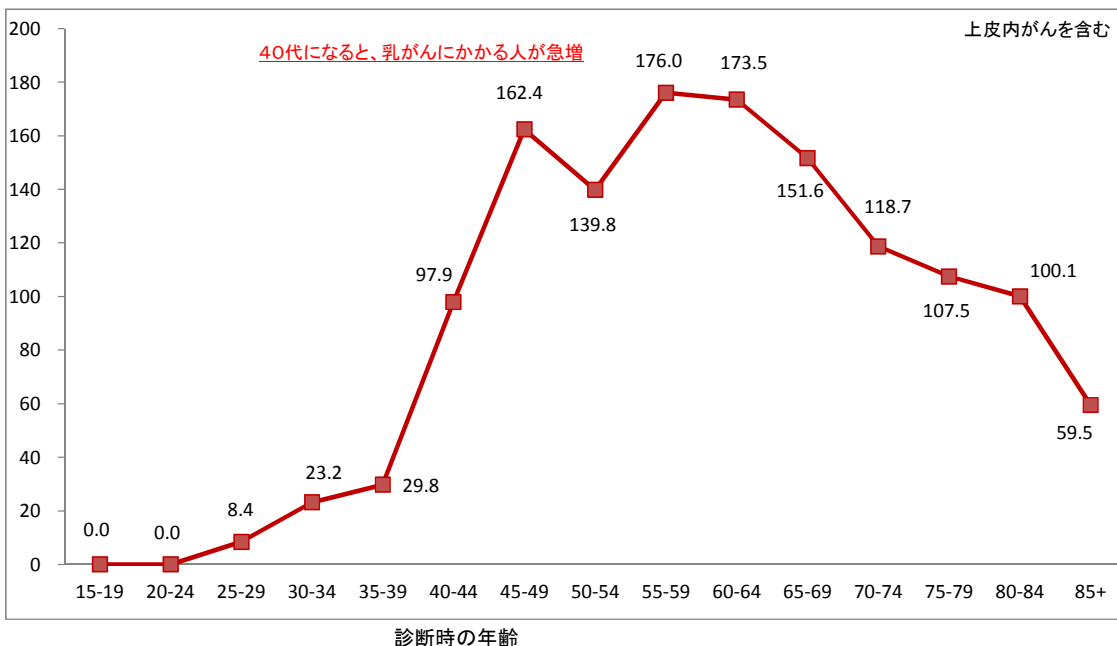
(参考)乳がん(女性のみ)に関するデータ

がん検診受診率の年次推移:H18年~H24年

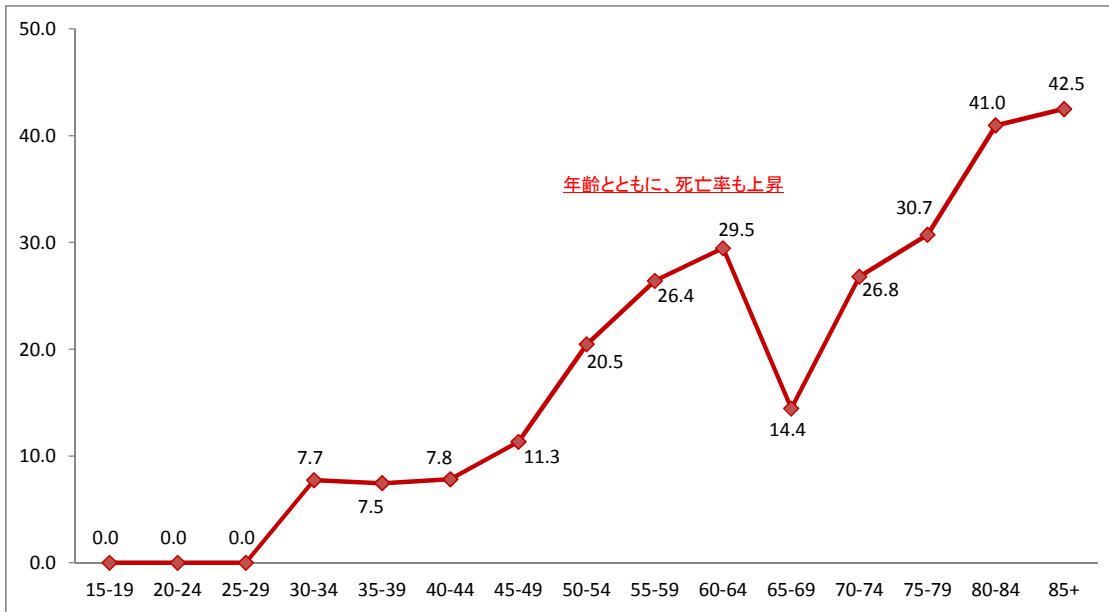


(出典:厚生労働省地域保健・健康増進事業報告)

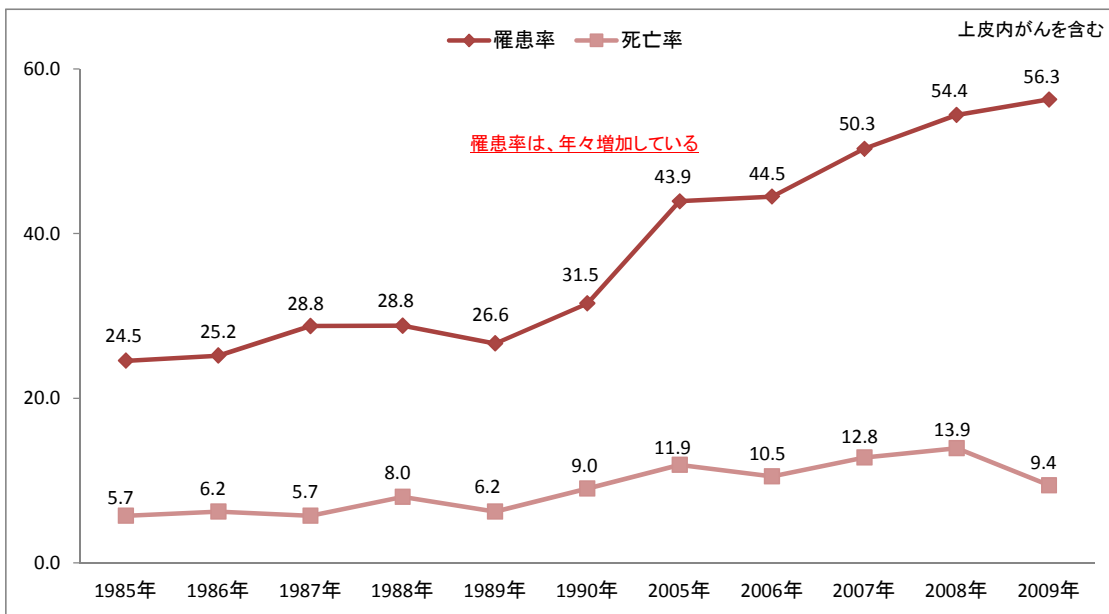
年齢階級別罹患率(人口10万対):2009年



年齢階級別死亡率(人口10万対):2012年



年齢調整罹患率と死亡率の年次推移(人口10万対):~2009年



(出典:佐賀県がん登録平成25年度登録事業報告)